

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県立武田の杜保健休養林	<b>所管課</b>	林政部 県有林課
<b>所在地</b>	甲府市山宮町片山3371 外	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和54年3月14日
<b>管理方式</b>	山梨県造園建設業協同組合		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例		
<b>設置目的</b>	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	○面積:2,500ha ○施設の内容 ・健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、展望休憩室15㎡、キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 ・樹木見本園:休憩舎34㎡等 ・幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎4棟等 ・鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等		
<b>主な業務内容</b>	(1)キャンプ場利用の承認に関する業務 (2)施設等の維持保全に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施及び鳥獣の保護に関する業務 (5)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
------------------------------	-------------------------------------

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	利用者数	96,997	93,927	49,144	101,600
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	利用者数合計	96,997	93,927	49,144	101,600
	目標値	90,831	100,600	100,600	101,600
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度目標値 × 1.01	平成29年度実績		前年度目標値 × 1.01
対平成30年度比		96.8%	50.7%	104.7%	
利用率	306人/日	297人/日	157人/日	326人/日	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	844,590	584,000	88,010	584,000
	指定管理者委託料	42,360,000	42,736,000	42,499,555	42,736,000
	その他	515,679	801,000	2,073,715	805,000
	収入合計(A)	43,720,269	44,121,000	44,661,280	44,125,000
支出	人件費	25,424,070	21,198,250	20,804,501	21,198,250
	県への納付金				
	管理運営費	18,068,855	22,922,750	23,567,593	22,926,750
	うち外部委託費(B)	5,485,625	10,757,000	9,819,427	10,761,000
支出合計(C)	43,492,925	44,121,000	44,372,094	44,125,000	
収支差額(A-C)	227,344		289,186		
外部委託比率(B÷C)	12.6%	24.4%	22.1%	24.4%	
利用者一人当たりの経費	451.0	424.8	864.8	420.6	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年4月～令和3年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答数:397人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①整備・施設状況	73.1%	26.0%	0.9%	0.0%
②開園日、開園時間	84.5%	14.5%	1.0%	0.0%
③スタッフの対応	62.8%	35.4%	1.2%	0.6%
④プログラムの内容	83.5%	16.1%	0.4%	0.0%
⑤申し込み方法	72.6%	25.0%	2.0%	0.4%
⑥利用料金	64.3%	31.6%	4.1%	0.0%
施設全般の満足度	76.0%	22.5%	0.9%	0.6%

利用者の意見	<p><b>【施設・設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供用スリッパを用意してもらいたい。</li> <li>・遊歩道や岩石園に生い茂った草を処理してほしい。</li> <li>・片山山頂の眺望が悪い。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の森へ行く道がわかりにくい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<p><b>【施設・設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供用スリッパを導入した。</li> <li>・キャンプ場の男子トイレに網戸を設置した。</li> <li>・夏、秋の草刈りのほか、シルバー人材センターに依頼して遊歩道以外の林内も逐次草刈りを実施した。</li> <li>・片山山頂の眺望改善のため、南側の草刈りと灌木の処理を実施。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道から公園への分岐点などに表示板を設置した。</li> </ul>

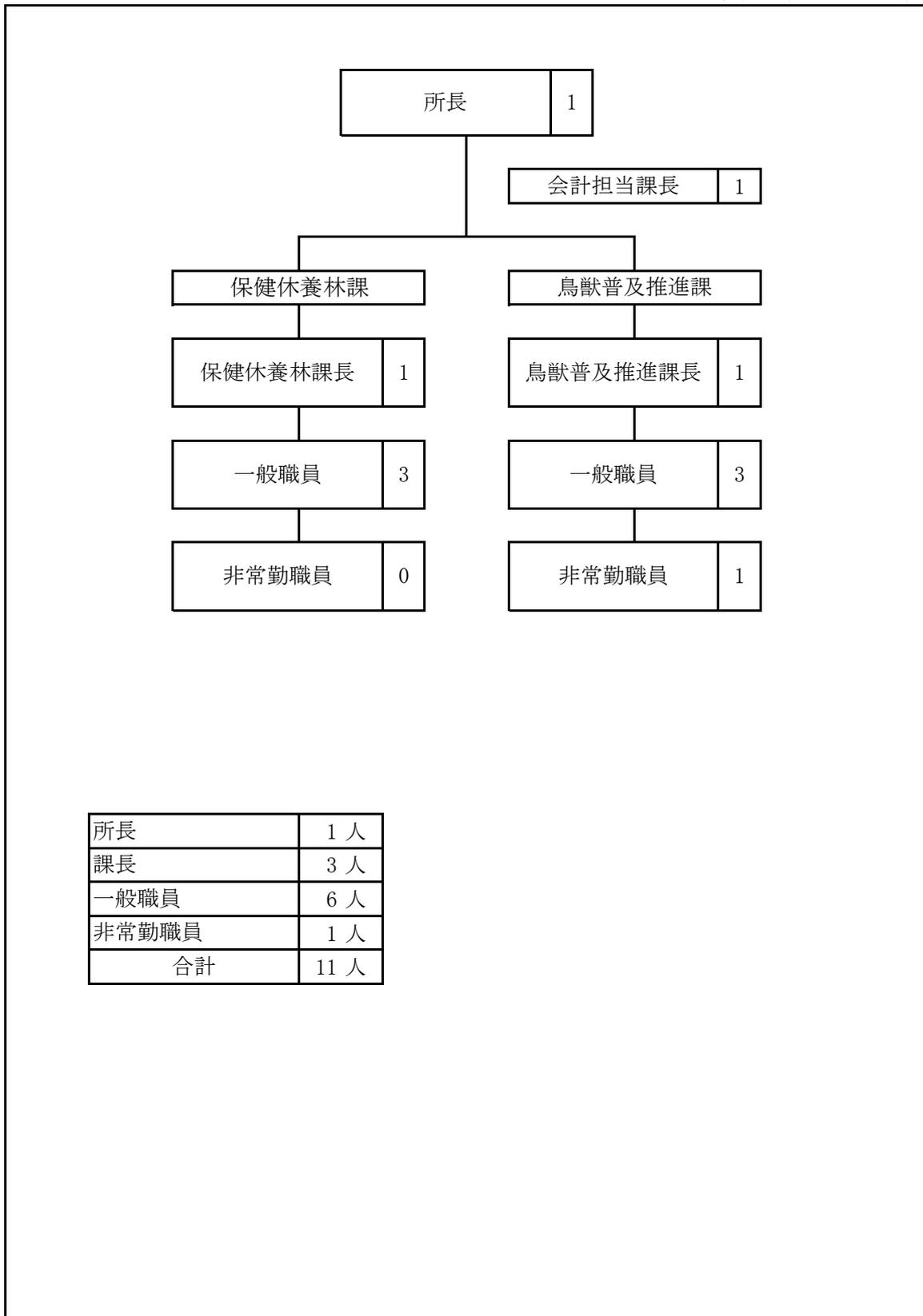
## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>委託業務と併せ職員による清掃を行うなど、施設の美化活動を徹底し、利用者の快適性の向上に努めた。</p> <p>老朽化した階段や手すり、ベンチ等を改修した。</p> <p>また、市道分岐点からサービスセンターまでの進入路において、落下するおそれのある枝の撤去を行うなど、利用者の安全対策に努めた。</p>	<p>業務計画書に基づき、施設の維持管理を適正に実施している。</p> <p>今後も、利用施設の快適性向上への取り組みや、遊歩道の点検、補修、倒木や危険木の撤去など、利用者の安全確保に向け迅速に取り組むこと。</p>
運営業務	<p>森林の癒し効果を活用した森林セラピー事業において、昇仙峡ツアーを加えたPR効果の高い事業を、地域との連携を重視しながら開催し、多くの参加者を得た。</p> <p>また、日々の見どころとして、武田の杜に生息・生育する動植物などを写真で掲示したり、キャンプ場の男子トイレに網戸や新たなベンチを設置するなど、利用者への快適なサービスの提供に努めた。</p>	<p>業務計画に基づき、ツリーライミングなど集客効果の高い事業が積極的に実施された。特に森林セラピーツアーについては、コロナ禍にあつて高まる、森林の癒やし効果を多くの人に体験してもらう事ができただけでなく、地元の観光業とも連携することで地域経済へも貢献したことから、今後も地域に求められる公園となるよう、こうした取り組みを継続すること。</p> <p>また、利用者の快適性を優先した施設の改善が評価を得ているので、引き続きこうした取り組みを推進すること。</p>
利用状況	<p>介護施設や幼稚園などの団体利用を受け入れたり、新たな自主事業を行うなど、リピーターを中心に利用者の確保を図ったが、新型コロナウイルスの感染拡大対策のため、サービスセンター、鳥獣センターなどを休館したことや、さくらまつり、山菜を楽しむ会など人気プログラムの提供を中止したことも影響し、目標人数に達せず、利用者数も昨年と比べ減少した。</p>	<p>新しい体験プログラムの提供など利用者の増加を図ったが、新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数は目標人数、昨年度実績をともに下回ってしまった。</p> <p>今後もアンケートなどを活用し利用者の意見を取り入れ魅力ある主催事業の実施や施設管理を適切に行うなど、利用者の確保に向け積極的に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>新型コロナ感染防止対策としてキャンプ場を閉鎖したことなどにより、事業収入等は減少したが、人件費など管理経費の支出を抑制したことで、収支の改善が図られた。</p>	<p>収支はプラスとなった。</p> <p>引き続き、主催事業への参加者増加の取り組みを推進するとともに、消耗品費等支出の節減など、収支改善に努めること。</p>
自主事業	<p>新型コロナ感染拡大により多くの事業が中止となったが、親子みどりの集いなど実施できた事業は、参加者等から高い評価を得た。</p>	<p>コロナ禍にあつて計画していたイベントの多くが中止となった。</p> <p>新型コロナ感染拡大の動向を注視しつつ、利用者のニーズにあった自主事業となるよう、内容や実施方法を適宜見直すこと。</p>

利用者満足度	<p>イベントにあつては感染症対策に配慮しつつ開催したほか、施設の特徴を活かす環境整備等により利用者へのサービスの向上に努めたことで、多くの利用者から高い評価を得た。</p>	<p>各項目において「満足・どちらかといえ ば満足」の比率が約95%以上と非常に高く、昨年度に引き続き利用者サービスに努めた結果が現れた。 今後とも感染症対策への配慮を怠らず、利用者のニーズに配慮した運営に取り組むこと。</p>
運営目標の達成状況	<p>令和2年度 利用者数 目標値 100,600人 → 実績値 49,144人 目標値に対し48.9%の利用状況であった。利用者減少の要因は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う県からの感染防止の協力要請により、5月7日までは、施設休館、駐車場閉鎖が行われるとともに、感染防止ガイドラインの作成による協業要請の個別解除と、施設の使用開始準備に日数を要し、その後も感染拡大を懸念して外出を控えるといった社会情勢が大きく影響したものと考えられる。 また、利用者満足度は、「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が昨年度と同等の98.9%と目標の95%を超えており、安定的に利用者から好評を得ることができた。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>介護施設や幼稚園などの団体利用の継続的な受け入れや、リピーターを中心とした利用者確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大による施設休館の影響や外出自粛や各種イベントの中止等が社会的に求められた事により、利用者数は目標値を下回る結果となった。 こうした状況下にあつて、運営においては遊歩道やキャンプ施設等の修繕や、眺望や公園利用者の安全確保のための森林整備を実施するなど、利用者のニーズに沿った環境整備を実施したほか、コロナ禍にあつて高まる自然の癒やしを求めるニーズに応え、昇仙峡観光や湯村温泉での入浴とセットで森林セラピーを実施するツアーを実施し好評を得るなど、施設管理者としての責務を果たしている。また、利用者の満足度は良好であり、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止協力要請を行うとともに、協力要請の個別解除ガイドラインの作成と遵守について指導した。感染拡大状況に応じてイベントの開催・規模等を検討すること、及び自粛要請の終了とともに、グリーン・ゾーン認証施設に速やかに移行するよう指導した。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>新型コロナウイルス感染防止協力要請に応じ、施設の休館、注意喚起看板の設置を行い、感染防止ガイドラインを作成し遵守する中で、換気・消毒、マスク着用・手指消毒・間隔の確保の注意喚起等、迅速に対応を行った。主催事業等については、感染拡大状況に応じて規模内容を中止を含めて検討したうえで、新型コロナウイルス感染防止策を十分に取った。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



所長	1 人
課長	3 人
一般職員	6 人
非常勤職員	1 人
合計	11 人